

まちづくり交付金 事後評価シート  
富山港線沿線地区

平成22年2月

富山県富山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	富山市		地区名	富山港線沿線地区			面積	980ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度									
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路改築(2路線)、道路修繕(3路線)、公園(2箇所)、地域生活基盤施設(多目的広場、駅前広場、駐輪場、サイン)、高質空間形成施設(歩道高質化)、既存建造物活用事業(交流センター)、土地区画整理事業									
			提案事業										
			地域創造支援事業(奥田公園、パークゴルフ場、歴史・景観啓発事業、修景基準調査)、事業活用調査(公園計画)、まちづくり活動推進事業(運河周辺活性化事業、とよまの味覚市事業)										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	道路修繕(7路線)、公営住宅等整備(高齢者向・中堅所得者向優良賃貸住宅)			・道路修繕:地元調整の難航 ・公営住宅等整備:民間事業者の着工申請無			・影響なし			
		提案事業			なし								
新たに追加した事業		基幹事業			道路改築(6路線)、道路修繕(30路線)、歩道橋、公園(4箇所)、地域生活基盤施設(駅前広場、外国語表示案内板)、既存建造物活用事業(案内所)			・住環境の向上に資する事業、ライトレール整備にあわせ必要性の高まった事業を追加			・影響なし		
		提案事業			地域創造支援事業(無電柱化、修景助成、フィーダーバス、ICカード利用拡大、消雪装置設置、準用河川改修)、まちづくり活動推進(ライトレール整備効果把握、事業評価)			・住環境の向上に資する事業、富山港線利用者増加のため有効性の高い事業を追加			・影響なし		
交付期間の変更		当初				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	富山港線の利用者数	人/日	3,400	H14	4080	H20	4,427	○	あり なし	ライトレールの整備に併せたアクセス道路、駅前広場、駐輪場整備など、沿線でのまちづくりにより利用増につながった。	確定値	
	指標2	観光客入込数	千人/年	280	H14	336	H20	397	○	あり なし	ライトレールの整備に併せた岩瀬地区の無電柱化、歴史的街並み修景整備により、観光客増加につながった。	確定値	
指標3	居住者数	千人	50	H14	51	H20	49	△	あり なし	ライトレール沿線は、既に土地利用が進んでおり、未利用地が少ないことから住宅供給が進まなかったが、人口の減少には下げ止まりの傾向が見られる。	確定値		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1				
	その他の数値指標1	ライトレール沿線の新規着工件数	件/年	90	H16			145				ライトレール整備と、沿線でのまちづくりにより土地利用が進んだ。	確定値
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況	<p>・富山ライトレール開業後(H18)の利用者実態調査では、富山ライトレール利用者のうち約1割は自動車からの手段転換であり、地域公共交通活性化のみならず環境負荷の低減にも繋がっている。</p> <p>・富山ライトレール開業により、富山港線の日中の利用者の増加、高齢者の利用頻度の増加が確認されている(利用者実態調査)。また、富山ライトレール沿線の高齢者の外出頻度の増加が確認されており(沿線住民アンケート調査)、公共交通とまちづくりの連携による高齢者が住みやすい住環境整備が進んだと考えられる。</p> <p>・岩瀬地区の観光客は増加しており、平成19年に行ったヒアリング調査では、県外客が半数を占めているとともに、県内客ではリピーターが多いことが確認されている。</p> <p>・岩瀬地区では店舗の修景整備が進み、地区内の店主のアンケートでは、観光客増加に伴い、来客・売上が増加している店舗は約7割にのぼっている。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	富山港線路面電車化整備効果把握調査			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 周辺の交通環境の変化などに合わせて継続的に効果把握調査を行っていく。					
	住民参加プロセス	四方・草島フィーダーバス協議会 岩瀬・大広田・浜黒崎フィーダーバス協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● フィーダーバスの運行頻度、運行ルート等のサービス水準について、必要に応じ、地域や関係者と連携し検討を行っていく。					
持続的なまちづくり体制の構築	富山港線を育てる会 萩の市実行委員会			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 地元自治会、市民、民間の主体的な活動を尊重し、市は支援を行っていく。						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

富山港線沿線地区(富山県富山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	富山港線の利用者数	単位:人/日	3400	H 14	4080	H 20	4427	H 21
大目標 富山港線路面電車化を活かしたまちの活性化	観光客入込数	単位:千人/年	280	H 14	336	H 20	397	H 21
目標1 富山港線を核としたにぎわいのあるまちを再生する。	居住者数	単位:千人	50	H 14	51	H 20	49	H 21
目標2 岩瀬の古い街並みや歴史的的文化遺産を活かし、観光客の円滑な誘導を図る。								
目標3 街路、公園等の整備改善により交通アクセス、住環境の向上を図る。								



駅広場整備・フィーダーバスの運行



岩瀬まちづくり事業(無電柱化)



岩瀬まちづくり事業(修景整備)

- 提案事業 フィーダーバス社会実験・運行補助
- 提案事業 ICカード利用拡大事業
- 提案事業 ボートラム・シルバーバス事業
- 提案事業 岩瀬修景事業補助、岩瀬まるごと博物館 岩瀬まちづくり事業(無電柱化)
- 基幹事業 岩瀬まちづくり事業 (地域生活基盤施設、高質空間形成施設)
- 基幹事業 東岩瀬駅前通り修景整備事業
- 基幹事業 岩瀬観光案内所整備事業(旧東岩瀬駅舎改修)
- 基幹事業 ボトルネック踏切の解消 城川原豊田線改築事業(踏切道拡幅) 西の宮森線改築事業(踏切道拡幅)
- 基幹事業 公営住宅等整備事業(地域優良賃貸住宅)
- 基幹事業 牛島城川原線整備事業
- 基幹事業 下新町上赤江線整備事業
- 基幹事業 下新線整備事業
- 基幹事業 奥田公園整備事業
- 基幹事業 下新町土地区画整理事業 街区公園整備事業
- 提案事業 運河周辺活性化事業(運河まつり)
- 提案事業 とやまの味覚市事業
- 基幹事業 公共交通まちづくりインフォメーションコーナー整備事業
- 提案事業 富山港線路面電車化整備効果把握調査 都市再生整備計画事業評価調査



- 基幹事業 岩瀬駅前広場外9整備事業 自転車駐輪場整備事業(11箇所)
- 提案事業 ハークゴルフ場整備事業
- 基幹事業 エコタウン交流推進センター整備事業
- 基幹事業 外国語表示案内板整備事業
- 基幹事業 岩瀬大町公園、岩瀬中央公園、岩瀬神明町公園
- 基幹事業 温井公園整備事業
- 基幹事業 側溝修繕事業 (岩瀬萩浦町港町線、岩瀬天神町3号線、岩瀬松原町白山町線、岩瀬堺町表町線、岩瀬文化町表町線、運町森2号線、萩浦小学校運町線、城川原5号線、奥田新町湊町線、下新3号線、奥田下新町1号線、湊入船町8号線、永楽町3号線、下奥井広田線、城川原27号線、岩瀬港町松原町線、岩瀬文化町港町線、岩瀬新町1区土場町線、岩瀬文化町仲町線、岩瀬白山町大町2号線、岩瀬文化町2号線、岩瀬新川町大町線外1線、岩瀬松原町2号線、岩瀬白山町梅本線、岩瀬文化町新川町線、岩瀬港町1号線、岩瀬松原町入船町線、岩瀬萩浦町諏訪町線)
- 提案事業 準用河川がめ川整備事業
- 基幹事業 高岡町粟島線整備事業
- 提案事業 消雪装置設置事業
- 基幹事業 区画佳路第302号線整備事業
- 基幹事業 綾田北代線整備事業



自転車駐輪場整備事業



城川原豊田線(踏切道拡幅)



温井公園

### まちの課題の変化

- ・富山港線の利用者数は、ライトレール化、周辺のまちづくり、観光客の増加により目標を大幅に上回る増加を達成した。
- ・地区内の居住人口は、全市のな人口減少などにより目標は達成できなかったが、減少傾向に下げ止まりがみられた。
- ・円滑な交通のための交通環境の強化については、アクセス道路整備、踏切拡幅整備、駅前広場整備、駐輪場整備などによりライトレールへのアクセス性が向上した。
- ・岩瀬地区で市民や観光客が回遊できるみちづくりについては、岩瀬のメインストリートの修景が進むとともに、東岩瀬駅からのアクセス路整備が進み、歩行者が増加している。

### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・地域が主体となった組織の支援やP&Rの推進など、市民や企業との連携により富山港線のさらなる利用促進を図る。
- ・交通結節点(富山駅周辺)の利便性向上を図る。
- ・既存施設を活用した食事・休憩施設の創出を図る。
- ・駅北地区と岩瀬地区の連携強化のため、回遊ルートの整備を図る。
- ・平成19年度に創設した「富山市公共交通沿線居住推進事業」を推進し、戸建住宅、集合住宅の建設促進を図る。
- ・幹線道路のさらなる整備促進と歩行空間の確保により、地区内の交通環境の向上を図る。